

| 保育所保育指針養護【第1章2の(2)】   | 乳児(三つの視点)新規【第2章1】   | 5領域  | 1歳～3歳(5領域)新規【第2章2】   | 3歳～5歳(5領域)【第2章3】   | 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿新規【第1章4(2)】   |                            |  | 育みたい資質・能力新規【第1章4(1)】   | 小学校以上の資質・能力  |  |   |
|---|---|--|--|--|--|----------------------------|--|--|--|--|---|
| <p>・(生命の保持)<br/>一人一人の子どもが、快適にかつ健康で安全に過ごせるようにするとともに、その生理的欲求が十分に満たされ、健康増進が積極的に図られるようにする</p>   | <p><b>健やかにのびのびと育つ</b><br/>[健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力の基盤を培う。]<br/>ねらい (1) 身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。(2) 伸び伸びと体を動かし、はう、歩くなどの運動をしようとする。(3) 食事、睡眠等の生活のリズムの感覚が芽生える。【健康】</p>  | <p><b>健康</b></p>   | <p>[健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。]<br/>ねらい (1) 明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。(2) 自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。(3) 健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとする気持ちが育つ。</p>   | <p>[健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。]<br/>ねらい(1) 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。(2) 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。(3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。</p>   | ア  | <p><b>健康な心と体</b></p>       | <p>8項</p>  | <p><b>個別の知識や技能の基礎</b><br/>豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」</p> | <p><b>個別の知識や技能(何を知っているか、何ができるか)</b></p>  |  |   |
|   |   |  | <p><b>人間関係</b></p>   | <p>[他の人と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う]<br/>ねらい (1) 幼保連携型認定こども園での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。(2) 周囲の園児等への興味・関心が高まり、関わりをもとうとする。(3) 幼保連携型認定こども園の生活の仕方に慣れ、きまりの大切さに気付く。</p>   | <p>[他の人と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う]<br/>ねらい (1) 幼保連携型認定こども園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。(2) 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。(3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。</p> | イ                          | <p><b>自立心</b></p>  |  |  | <p>4項</p>  |   |
|   | <p><b>身近な人と気持ちが通じ合う</b><br/>[受容的・応答的関わりの元で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基盤を培う]<br/>ねらい (1) 安心できる関係の中で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。(2) 体の動きや表情、発声等により、保育教諭等と気持ちを通わせようとする。(3) 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。【(人間関係)(言葉)】</p> | <p><b>環境</b></p>   | <p>[周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う]<br/>ねらい (1) 身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ。(2) 様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。(3) 見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。</p>   | <p>[周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う]<br/>ねらい (1) 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。(2) 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。(3) 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに</p>   | ウ  | <p><b>協同性</b></p>          | <p>4項</p>  |  |  | <p><b>思考力・判断力・表現力等(知っていること・できることをどう使うか)</b><br/>気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力などの基礎」</p> | <p><b>思考力・判断力・表現力等(知っていること・できることをどう使うか)</b></p> |
|   |   | <p><b>言葉</b></p>   | <p>[経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う]<br/>ねらい (1) 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。(2) 人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。(3) 絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。</p>   | <p>[経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う]<br/>ねらい (1) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。(2) 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。(3) 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育教諭等や友達と心を通わせる。</p> | エ  | <p><b>道徳性・規範意識の芽生え</b></p> | <p>5項</p>  |  |  |  |   |
| <p><b>身近なものとの関わり感性が育つ</b><br/>[身近な環境に興味や好奇心を持って関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基盤を培う。]<br/>ねらい (1) 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。(2) 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。(3) 身体感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等</p> | <p><b>表現</b></p>  | <p>[感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする]<br/>ねらい (1) 身体感覚の経験を通じて、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。(2) 感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。(3) 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。</p>              | <p>[感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする]<br/>ねらい (1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。(2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。(3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。</p>   | オ  | <p><b>社会性との関わり</b></p>   | <p>6項</p>                  | <p><b>学びに向かう力、人間性等(知っていること・できることをどう使うか)</b><br/>心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」※小学校教育との接続に当たっての留意事項 イ 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を發揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。幼児期の教育及び中・高学年以降の教育との円滑な接続を図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。→スタートカリキュラムの位置づけ</p> | <p><b>学びに向かう力、人間性等(知っていること・できることをどう使うか)</b></p>                                  |  |  |   |
|   | <p><b>言葉</b></p>  | <p>[経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う]<br/>ねらい (1) 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。(2) 人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。(3) 絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。</p> | <p>[経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う]<br/>ねらい (1) 自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊厳に気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚悟するようになる。</p> | カ  | <p><b>思考力の芽生え</b></p>  | <p>6項</p>                  |  |  |  |  |   |
| <p><b>身近なものとの関わり感性が育つ</b><br/>[身近な環境に興味や好奇心を持って関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基盤を培う。]<br/>ねらい (1) 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。(2) 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。(3) 身体感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等</p> | <p><b>言葉</b></p>  | <p>[経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う]<br/>ねらい (1) 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。(2) 人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。(3) 絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。</p> | <p>[経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う]<br/>ねらい (1) 自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊厳に気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚悟するようになる。</p> | キ  | <p><b>自然との関わり・生命の尊重</b></p>  | <p>4項</p>                  |  |  | <p><b>学びに向かう力、人間性等(知っていること・できることをどう使うか)</b><br/>心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」※小学校教育との接続に当たっての留意事項 イ 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を發揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。幼児期の教育及び中・高学年以降の教育との円滑な接続を図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。→スタートカリキュラムの位置づけ</p> | <p><b>学びに向かう力、人間性等(知っていること・できることをどう使うか)</b></p>  |   |
|   | <p><b>表現</b></p>  | <p>[感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする]<br/>ねらい (1) 身体感覚の経験を通じて、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。(2) 感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。(3) 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。</p>              | <p>[感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする]<br/>ねらい (1) 自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊厳に気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚悟するようになる。</p>                   | ク  | <p><b>数量・図形・文字等</b></p>  | <p>2項</p>                  |  |  |  |  |   |
| <p><b>身近なものとの関わり感性が育つ</b><br/>[身近な環境に興味や好奇心を持って関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基盤を培う。]<br/>ねらい (1) 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。(2) 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。(3) 身体感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等</p> | <p><b>表現</b></p>  | <p>[感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする]<br/>ねらい (1) 身体感覚の経験を通じて、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。(2) 感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。(3) 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。</p>              | <p>[感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする]<br/>ねらい (1) 自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊厳に気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚悟するようになる。</p>                   | ケ  | <p><b>言葉による伝え合い</b></p>  | <p>4項</p>                  | <p><b>学びに向かう力、人間性等(知っていること・できることをどう使うか)</b><br/>心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」※小学校教育との接続に当たっての留意事項 イ 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を發揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。幼児期の教育及び中・高学年以降の教育との円滑な接続を図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。→スタートカリキュラムの位置づけ</p> | <p><b>学びに向かう力、人間性等(知っていること・できることをどう使うか)</b></p>                                  |  |  |   |
|   | <p><b>表現</b></p>  | <p>[感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする]<br/>ねらい (1) 身体感覚の経験を通じて、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。(2) 感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。(3) 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。</p>              | <p>[感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする]<br/>ねらい (1) 自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊厳に気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚悟するようになる。</p>                   | コ  | <p><b>豊かな感性と表現</b></p>   | <p>3項</p>                  |  |  |  |  |   |

ねらいは教育及び保育において育みたい資質・能力を園児の生活する姿から捉えたもの、内容はねらいを達成するために指導する事項/各視点領域はこの時期の発達の特徴を踏まえ教育及び保育のねらい及び内容を乳幼児の発達の側面から乳児は三つの視点として幼児は五つの領域としてまとめ示したものの、内容の取扱いには園児の発達を踏まえた指導を行うに当たって留意すべき事項/各視点領域のねらいはこども園における生活の全体を通じ園児が様々な体験を積み重ねる中で相互に関連をもちながら次第に達成に向かうもの、内容は園児が環境に関わって展開する具体的な活動を通して総合的に指導されるものに留意。又「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」がねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている園児のこども園修了時の具体的な姿であることを踏まえ指導を行う際に考慮 (坂崎龍治、日保協学術研究会発表資料 2017年を基に一部改変)